

2023年宇田川ゆきお政策(抜粋)

[3面からの続き]

# Power Up 八潮&埼玉

## Power Up 04 基盤整備・ 環境対策 地域の便利・快適を増進

八潮市は都県境、市境とのアクセスが課題です。宇田川ゆきおは、老朽化した橋の架け替えや、交通網の整備を進め、都市機能の充実や向上を図ります。

さらに、まちの快適性を高め、川の水を浄化、エコや環境にも配慮します。さらに県の「みどりと川の再生」施策の成果を活かし、八潮独自の川の文化を育み、まちの個性と魅力につなげていきます。



- ①市内の都市軸道路(国道・県道)について優先順位を先行させながら早急に整備します。
- ②県道の道路段差を解消しながらバリアフリー化を積極的に進め、安全なまちをつくります。
- ③県道整備に関しては、新たに街路樹を植えたり、補植しながら環境整備に取り組みます。
- ④道路の補修や清掃に関し、八潮市を管轄している越谷県土整備事務所との連携を強化し、整備・充実を図ります。



- ⑤新橋建設や老朽化した橋の架け替えを進め、良好な交通環境の実現に全力を尽くします。
- ⑥観光と賑わいを創り出すため、川を利用した舟運を見直し、川の駅構想を具体化するために県との調整を進めます。
- ⑦綾瀬川、葛西用水等の親水化を進め、遊歩道ネットワーク化を図ります。
- ⑧中川河川敷を利用した水と緑の県立水辺公園構想を提案して参ります。
- ⑨自転車優先レーンや専用道を整備し、歩行者に優しいまちづくりを推進します。
- ⑩電線地中化を計画的に進め、環境に配慮した豊かな水と緑の回廊公園構想を実現します。

## Power Up 05 地域活性化 八潮の「元気」 「活力」を創造

八潮は埼玉県の東南部で、東京への新しい玄関口となる可能性を秘めています。さらに北部にはパーキングエリアとスマートインターが構想され、新たな地域の核となることが期待されています。

宇田川ゆきおは、八潮を南部と北部の2つの力で活性化し、県の力を呼び込んで、八潮市の進める「住みやすさナンバー1のまち」の実現に力を合わせます。

県との密接な連携で、県の進める「埼玉農業の競争力強化」「世界水準の中小企業育成」を先取りして、農商工の活性化に取り組みます。



- ①北部パーキングエリアとスマートインターの建設を促進し、自然と教育や新産業を誘致したモデル地区をつくります。
- ②地下鉄8号線を構想段階から「延伸決定」へ。周辺関係自治体と協力して参ります。
- ③中川新堤防建設に合わせ、下妻街道平安の道を観光スポットとして整備します。
- ④東埼玉道路に県主導による農商工複合「八潮道の駅」を建設し、新たな道の駅の展開を進めます。
- ⑤先端産業の誘致と地域企業とのマッチングを支援するとともに、各企業の経営力向上、ブランド化を後押し、本店機能を誘致します。
- ⑥中川堤防沿いにサイクリング道路を整備し、多様な交流の場とスポットをつくります。
- ⑦八潮金町線の整備を促進し、葛飾区と新橋の建設を目指します。災害・公共連携による安全と活性化を図ります。
- ⑧県立中小企業支援センターの機能を誘致、中小企業の情報・研究・資金等をサポートします。
- ⑨市街化調整区域(495ha)を「自然と賑わい」との調和を軸に調整してまちの新たな発展に役立てます。



# 情熱 責任 真摯 覚悟 埼玉県議会議員 宇田川ゆきお 県政報告

令和5年 3月25日発行 春号 Vol.21

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099



## 宇田川ゆきお県議 今後の活動方針と政策を 発表! 2023年版

活動を展開する中でさまざまな人脈に恵まれ、多くの政策調整が可能になったと思っています。

この度、基本的な政策を5項目に分けて、整理し、発表しました。①子育て・教育②医療・福祉③安全・安心④基盤整備・環境対策⑤地域活性化です。2頁以降に抜粋してありますので私の基本的な政治スタンスとしてご理解頂ければと思います。

とりわけ地域活性化の交通インフラの整備は市民の利便性向上のための施

策であります。地下鉄8号線の豊洲～住吉は2030年代半ばの開業が目指されており、さらに八潮までの延伸を具体化するため、今後も活発に働きかけて参ります。つくばエクスプレスは車両8両編成化も迫っています。私はこれら諸課題に県政の立場から切り込み、八潮市のまちづくりに全力投球して参ります。皆様のご意見をお待ちしております。

埼玉県議会議員  
宇田川幸夫

## 2023年 宇田川ゆきお政策(抜粋) Power Up 八潮&埼玉



### 2面以降に抜粋掲載

【経歴】●八潮市立八條中学校卒業●浦和実業学園高校卒業●東京コミュニケーション専門学校卒業●明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科修了MBA(経営学修士)●平成17年八潮市議会議員に初当選●平成21年、八潮市議会議員に二期目当選●平成27年、埼玉県議会議員に初当選●平成31年埼玉県議会議員に二期目当選●現在:県議会・自然再生・循環社会対策特別副委員長●議会運営副委員長、福祉保険医療委員長など歴任●所属団体:八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八條有志クラブ他  
[www.udagawayukio.com/](http://www.udagawayukio.com/)



新型コロナの最新情報は  
こちらから～ぜひご利用ください～



埼玉県LINE公式アカウント  
埼玉県-新型コロナ対策  
パーソナルサポート

まずは「友だち登録」から。  
新型コロナウイルスに関する  
情報をお知らせします。



ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055  
FAX.048-934-7099 E-mail.contact@udagawayukio.com

# 2023年宇田川ゆきお政策(抜粋)

# Power Up 八潮&埼玉

前号でご案内した「教育」特集は次号以降に予定します。

Power Up

## 01 子育て・教育 子育て先進都市・教育充実都市へ

宇田川ゆきおは、それぞれの実情にあった子育て支援で「子育て先進都市」を目指します。また、県との連携を強め「教育充実都市」を目指します。良い教育のあるまちは、地域の力を高め、次世代の発展を産み出します。宇田川ゆきおは、首都圏の子育て適齢期世代を呼び込み、八潮の活力アップと人口増を図ります。



- ①福祉3医療費無償化の年齢制限の引き上げ。
- ②超少子高齢化社会が進展する中で埼玉県独自の出生1人目からの支援の拡充を図り3人目以降の補助制度を2人目から前倒し。
- ③出産一時金制度の拡充を八潮市プラス地域割り増し分で支援し、将来の保険制度化とさらなる充実を図り、出産環境を整えます。
- ④産前産後ケアを強化し乳幼児の健やかな発育のため、乳幼児検診の回数を増やすとともに、保健センターなどに子育てサポートカフェ等併設し、気軽に検診・相談でき、総合的な子育て支援ができるように機能を充実させます。
- ⑤スマホによるスクリーニングできめ細か



小倉まさのぶ・こども政策担当大臣と

なプランを個別に策定し、必要なサービスをスマホで予約、DX化で更に便利に。アウトリーチ・デイ・宿泊型等の支援を確実に届け、心身と経済的な負担をゼロへ

- ⑥埼玉県東部教育事務所と協力し、優秀な教員を八潮市内の小中学校に確保します。
- ⑦八潮高校周辺の環境整備を進めます。また、県立高校に専門講座を開設し、個性と特色ある高校として魅力を高めます。
- ⑧幼保小中高大学の連携を強化し、八潮発日本の幼児教育モデル地域を創設します。
- ⑨市の進める首都圏の大学との連携を後押ししつつ、私立大学のノウハウを教育に導入し、さらに教育や産業に研究成果を活用できる環境整備を促進します。
- ⑩青少年の自然教育の充実を目指し、中川河川敷に県立野外活動センターを設置します。
- ⑪1000年を超えた八條遺跡の調査報告をもとに県レベルでの紹介、啓発に取り組みます。

- ⑫県として「食育」を進め、八潮の給食のため、リスク分散を含めたサポートをします。
- ⑬子ども食堂を強化し、地域の世代を超えた交流を進めるとともに、災害時の支え合いを目指します。
- ⑭キャリア教育のなか、特に金融教育と起業家教育をカリキュラム化し、0から1を創り出せる、新しい価値を創造出来る教育を目指します。
- ⑮子どもの連れ去りを欧米レベルの体制整備、共同親権・一方的な連れ去りは犯罪であることの周知・面会計画・相談窓口を強化します。

Power Up

## 02 医療・福祉 人生100年時代へ 健康寿命をサポート

暮らしの安心は、医療や福祉と密接に結びついています。特に女性の方々の負担も高いことから、総合的に政策を展開し、女性の方々の負担軽減を図ることが重要です。宇田川ゆきおは、医療・福祉の充実、家計にも優しい手厚いサポートの実現を目指します。そして「人生100年時代」の健康寿命をしっかりとサポートしていきます。



- ①県費を導入し、社会福祉協議会の運営補助を通じ、新たな役割分担を強力に推進、施設の充実も図ります。



助産師・直井先生と子育てママさんたちの意見交換会

- ②救急医療と救急車の機能を拡大させるための機器補充助成制度を確立します。
- ③草加保健所八潮分室(仮称)を設け、きめ細かな保健所業務を遂行します。
- ④県と地域医療機関との連携を進め、緊急時や高度医療を含めた地域医療の充実を図ります。
- ⑤埼玉県と八潮市が協力して障がい者のための入所施設を充実、働き場の確保を進めます。
- ⑥県、市との連携で、保育、介護、医療従事者などを含めた勤労者の労働環境の向上を図ります。
- ⑦お年寄りの介護施設については、県・市・民間活力の協働により整備します。
- ⑧シルバー世代の健康増進に向けてグランドゴルフ場やその他の健康増進関連施設の整備を進めて参ります。
- ⑨高齢者の社会参加、推進に向け、シルバー人材センターやグループホーム等を充実します。



動物愛護条例改正案の提案者代表説明

- ⑩多様性を尊重した就労センターを強化し、働き方や多様なニーズをサポートします。
- ⑪DV被害の女性を保護するため、警察・保健所・市が一体となった支援と解決への体制を築きます。
- ⑫在宅医療・処方箋の配達等を充実させ、IT・交通弱者でも医療提供を充実させます。
- ⑬ケアラー・ヤングケアラーが欲しいサービスに繋がるようにします。とくに自分の時間や、負担軽減につながる政策を実行します。
- ⑭ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)の理念を大切に、多様性を認め、1人1人が差別なく尊重される社会づくりを進めます。
- ⑮動物愛護を欧州レベル制度にするため、ブリーダー制の国家資格・悪質業者の立入り強化・動物愛護推進委員の機能・権限を強化します。

Power Up

## 03 安全・安心 地域の皆様の生命・ 財産・暮らしを守る!

地域住民の生命と財産、暮らしを守ることは、政治の本分です。宇田川ゆきおは、安心して暮らせるまちの実現のため、防犯対策を充実させ、埼玉県との連携を図り、



青木かつのり葛飾区長と

市民の防犯活動の意識の向上と防犯設計(CEPTED手法)によるまちづくりを進めます。さらにゲリラ豪雨も近年、頻発する中、水害・洪水に対し、治水安全度を高め、東日本大震災の教訓をもとに地震に対する広域的な防災体制を国、県、市と確立します。



- ①八潮市に警察署の建設を目指し、それまでは警察官の常備待機を進め、OB・民間の力を活用して安心なまちを実現します。
- ②道路信号を増設し、歩行者の安全と自動車の渋滞解消を目指します。
- ③道路標識やガードレール整備をし、八潮市内を交通安全モデル地域に指定します。
- ④洪水に備えるために排水機場を強化し、土のう置場や移動式ポンプを配備します。
- ⑤中川、綾瀬川などの護岸整備の優先順位を高め、速やかに工事に着手します。
- ⑥県立高校を特殊避難所に指定し、お年寄りや障がい者などの弱者専用施設に整備。
- ⑦大場川マリナーの観光資源の開発・強化と非常用栈橋を設け、緊急時の水上交通による物流手段の確保をします。
- ⑧中川やしおフラワーパークにヘリポートを建設し、緊急時の病人搬送等に備えます。
- ⑨エコボートを導入し、平常時は親水意識の高揚をはかり、非常時は避難用に活用します。
- ⑩県と市の連携により、国や県の高層建築、高層住宅所有者との水難・避難互助協定の締結を推進します。

(4面へ続きます)

udagawa  
NOTE

国・県・市の連携で政策を動かす。  
県の立場で選択・集中・投資の発想を!

政策を実行する際、どうしても国・県・市の行政による役割分担の壁にぶつかることがあります。その解決のポイントを私は市、県、国を巻き込んだ政策のパッケージ化をどこまでできるかだと考えています。私が国会議員や都議会議員などの方とネットワークをつくっていくのはそのためです。市単独では出来ないこと

を県が仲立ちをし、国と協議して実現していく。そのマネージメントが求められています。さらに公共事業の中にも、県が積極的に選択と集中、そして投資の発想を活かし、市外から人やモノ、資金を呼び込む大きなプランを創るべき時期にきていると考えています。それを後押しすることも私のこれからの使命と思っています。

udagawa  
NOTE

徒歩圏内で安心・便利に暮らせるまち  
国のスマートシティモデルの実現化へ!

私は、八潮のまちづくりのイメージを徒歩圏内で安心して便利に暮らせるまちが目標になると思っています。徒歩圏内でみんなが欲しいものが成り立つ街は、子どもからお年寄りまでに優しいまちです。徒歩圏内に医療・福祉・教育・イベント・公共施設・買い物物が出来、交流・循環できるようにしていきたいと考えています。その

ためには地域毎に核となる公共施設をつくることはもちろん、ICT(情報通信技術)を積極的に導入し、八潮のスマートシティ化が有効です。県の権限・予算を利用し、国が進めるスマートシティ事業を活用することで、IT・交通弱者をなくし、あらゆるインフラの向上を図る。コンパクトな八潮市だからできると思っています。